

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	(仮称)内野地区集会施設	
建設地	西区 内野町385,386,413,414	
用途地域	近隣商業地域・準防	
建物用途	事務所, 集会所, 病院,	
竣工年	2016年10月 予定	
敷地面積	2,710.01 m ²	
建築面積	1,078.82 m ²	
延床面積	3,118.81 m ²	
階数	地上4F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2015年3月18日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{67.1}{35.3} = 1.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	4.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.6		耐震・免震	3.8
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.5		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮・快適性の向上	5.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の為に構造材、仕上げ材に耐久性の高い材料を選択しています。
- 耐震性については、建築基準法の1ランク上の25%増を計画しています。
- 大雨への取組みについて、行政指導規模以上の雨水処理対策を実施しています。
- 自然エネルギー利用の取組みについて、太陽光の有効利用として太陽光パネルの設置、ハイサイドライトを計画します。
- 資源循環の取組みとして、節水設備の採用、リサイクル材の使用を計画しています。
また、ゴミや有価物の分別回収できる施設整備、設備に取り組んでいます。
- 水と緑を活かす取組みにて、適切な植栽を設けることで良好な景観形成を計画しています。
- 地域の魅力を伝える為、新潟地場産材の活用を計画しています。

CASBEE[®]新潟

評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版(BEI対応)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)内野地区集会施設	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市西区	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	300人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	2,100時間/年
建物用途	事務所、集会所、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年3月18日
敷地面積	2,710 m ²	作成者	海津正男
建築面積	1,079 m ²	確認日	2015年3月18日
延床面積	3,119 m ²	確認者	海津正男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>外観コンセプトとして、3方道路に囲まれた敷地を生かし、全面をファサードとした「裏」のないデザインとしています。また地域交流の顔となる、外観、計画を目指します。平面計画をコンパクト化～正方形化することにより、敷地の有効利用、建物内動線の短縮と分かり易さ、省エネに有効に働くよう配慮しています。集会施設と行政施設を一体的にまとめるコンパクトにすることで、利便性の高い駐車場を持つことを可能とした計画としました。</p>	<p>その他</p> <p>保守管理合理化として、設備の集約化、セキュリティと設備の中央監視化に取り組みました。改修が容易な乾式工法とプレファブ工法と取り入れ、施工精度の向上、工期短縮による現場経費の削減等を図っています。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>冬場、夏場において快適な室温を可能とする為に空調設備を適切に設けています。また、適切な照明を配置し、作業効率の高い空間としています。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>誰でも使いやすいバリアフリーな施設計画とし、ゆとりある執務空間、およびフレッシュスペースを提供します。また、防汚性の高い仕上、形状の採用により維持管理や清掃のしやすい環境を整えます。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>誰もが気軽に立ち寄れる広場を設け、地域の活動と賑わいに貢献します。また地域のお祭り会場に使用できる駐車場兼イベント広場を計画しています。広場と施設は大きな開口により、内外の一体的利用が可能です。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>自然エネルギーの直接利用として最上階にハイサイドライトを設け、照明設備だけに頼らない、太陽光を取り入れる計画としています。また地球温暖化や化石エネルギー枯渇問題の観点から、太陽光発電装置を設置し、二酸化炭素(CO₂)削減に貢献します。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型機器を積極的に採用し、水資源保護に取り組んでいます。またリサイクル材、地場産木材を仕上等に使用することで限りある資源を有効活用します。また再利用可能なユニット部材を一部において使用しています。また有害化学物質を含まない材料を採用し、使用します。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>不特定多数の使用される集会施設として、適切な量の駐車場を確保し、周辺道路に渋滞や路上駐車が発生しにくい環境を整えることに重点を置いています。また地域の交流の拠点として、ゴミの分別回収を推進する為の空間整備や設備を計画しています。</p>

- 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される